

令和6年5月10日

令和6年度 若葉台特別支援学校

1

第1回 学校運営協議会



(1) 委員委嘱状交付

(2) 自己紹介

(3) 学校経営方針について

目指す学校像

児童生徒・保護者・教職員にやさしい学校

優しいは「人」を憂う気持ち

思いを知り

背景を知る

学びと輝きを大切にする学校

自分らしい表現 自分の言葉をもつ

主役は児童生徒 主語を「児童生徒」に置き換えて考えてみる

令和6年度 テーマ

「ないようである壁」から「あるようでない壁」へ

教師から始まる交流

人材育成の視点

学びの充実

わかばDX の推進

働き方改革

会議の工夫・時間短縮

クラウド活用

保護者への啓発

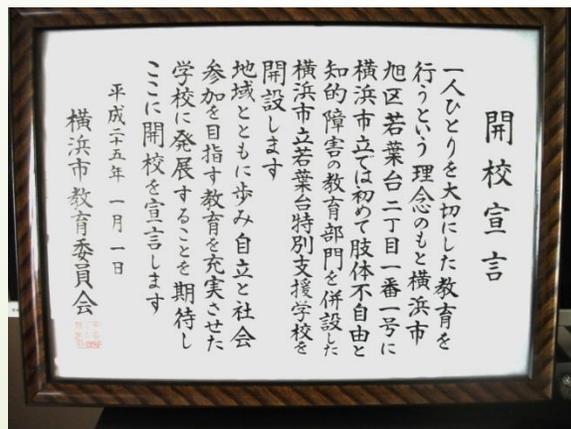
学びを拡げる

学びをつなげる

令和4～6年度版 中期学校経営方針

7

- ➡ 学校教育目標
- ➡ 一人一人を大切にした教育を行い
- ➡ 地域とともに歩み
- ➡ 自立と社会参加をめざす教育を充実させます



横浜市立若葉台特別支援学校		令和4～6年度版 中期学校経営方針 (令和6年度修正)	
学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを大切にした教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を充実させます。(開校宣言) 一人ひとりに応じた学び、コミュニケーションを大切にした教育を行います。(知) 一人ひとりの自他を大切にできる気持ちや態度を育てる教育を行います。(徳) 一人ひとりの体と安全を最優先した教育を行います。(体) 一人ひとりの社会の一員としての気持ちや態度を育てる教育を行います。(公・関) 		
	創立 12 周年 学校長 笹平みどり 副校長 宇佐美剛・小滝愛子 2 学期制 幼児・児童・生徒数: 169 人 幼稚園: 人 小学部: 37 人 中学部: 21 人 高等部本科: 108 人 専攻科: 人		
教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 A:健康に過ごす力 伝える力 他者との関わりを広げていく力 B:相談する力 自己選択力 自己決定力 自立と社会参加も目指し生きる力		育成を目指す資質・能力を踏まえた 「()年間で育てる子ども像」と具体的取組 A. 自らを高め、自分の思いや考えを自分なりの方法で伝える力を身に付けた子ども。 自立を目指して、よりよく生きるために他者との関わりを広げていく力を身に付けた子ども。 自立を目指して、心豊かに過ごすために、好きなこと、楽しいことを身につける力を身に付けた子ども。 自己有用感をもた、コミュニケーション力、特に相談する力を身に付け、自立と社会参加を目指す子ども。 A. チーム力を一層向上させ、個別の指導計画の柔軟性と精度を高め、他者の課題解決に積極的 の工夫を行う。 B. チーム力を発揮し、キャリアデザインの精度を高め、自他の相談力を向上させ、他々の目標達成に 適切な支援を行う。 C. チーム力を構築し、A・B両部門の教育を支える。	
中期取組目標	○一人ひとりを徹底的に大切にした教育を行い、地域と共に歩み、個々に応じた自立と社会参加を目指す教育を充実させます。 ・教育的ニーズに応じた課題の設定や解決方法を通して、自己表現や自己選択や自己決定する力を育てます。 ・交流及び共同学習の場を多く経験させることを通して、自他を大切にできる気持ちや態度を育てます。 ・個々に応じた健康・体力の維持、増進を目指すことを通して、個にあった健康・体力の向上を図ります。		
重点取組分野		具体的取組	
知	生きてはたらく知	①個別の指導計画の目標達成ができるように、個に応じた指導を充実する。②一人ひとりの特性を理解し、身に付けさせたい力を明確にした授業を充実させる。③地域での学びを充実させ、自己肯定感、コミュニケーション力の向上を目指す。	
徳	交流教育	①校内での A部門、B部門の交流教育活動を充実させる。②学校間交流、地域交流、副学籍交流を通して、育ちあう力の育成を推進する。③インクルーシブモデル実践で新しい交流・共同学習の在り方を研究する。	
体	健康安全教育	①日々の学習、自立活動、行事などを通して、自分自身の身体意識を育てたり、心身の健康について考える力を育てる。②安定した健康状態で授業に臨めるよう環境等を整備する。③集団生活におけるルールやマナーの理解を高め、友達と協力して安全に活動できる力を育てる。④多職種と協働して、安全に医療的ケアを実施する。	
公	キャリア教育	①キャリア発達を支援する教育活動を充実させる。②経験を通して自分のことを理解する力、考える力、選ぶ力など、意思決定の基盤となる力を育成する。 ③保護者と連携しながら系統的、計画的な進路指導を行う。	
いじめへの対応		①授業が学校が安心できる場となるように授業改善に取り組む。②体罰や不適切な指導を防止したり、いじめへのアンテナを高くし、常に児童生徒の人権が尊重されるようにする。③SCの活用、いじめアンケート、面談を通して、生徒の思いを知り寄り添った指導を行う。	
センター的機能の取組		①特別支援教育コーディネーターを中心に巡回支援や研修の提供などを行う。②他機関との連携、協働を通して障害理解や啓発を行い、障害のある方の社会参加に貢献する。③若葉台地区インクルーシブ実践を推進する。	
地域連携・学校運営協議会		①学校運営協議会委員による学校運営への参画と協力を推進するために、学校からの情報発信を積極的に行う。②学校と地域と協働での活動を推進する。③意思決定支援フォロワー育成を協働で行う。	
情報教育 GIGAスクール推進		①学校図書館の計画的な活用と読書活動の充実を図る。②一人一台端末、クラウドを効果的に活用し教育内容、活動の充実し、授業での児童生徒が活用する場面を増やす。	
人材育成・組織改革		①校内組織の見直しを図るとともに、効果的運営と学校運営上の課題解決を目指す。②両部門共通での研修の機会を増やすとともに、管理職面談を通して研修を推奨する。③メンターチームの取り組みを通して、キャリアステージに応じた校内人材育成を充実させる。	

知：個に応じた指導の充実を目指して

➡ A部門

➡ 教育課程改善

➡ 学年制の導入

中学部 3年 1類型

時間	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
9:30 ~ 9:45	自立活動				
9:45 ~ 9:55	朝の会				
9:55 ~10:45	美術	社会	数学	社会	国語
10:50 ~11:40	総/ 技家※	音楽	理科	保体	外国語
11:40 ~12:10	自立活動				
12:10 ~12:35	給食				
12:35 ~13:25	社会	理科	外国語	国語	理科
13:25 ~14:15	外国語	国語	帰りの会	数学	数学
14:15 ~14:35	道徳	自活		道徳	自活
14:35 ~14:45	帰りの会			帰りの会	
下校時間	15:00	15:00		14:00	15:00

※ 総/技家：総合/技術家庭科
前期は総合と家庭科を隔週で学習します。
後期は総合と技術科を隔週で学習します。

中学部 2・3類型

時間	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
9:25 ~ 9:45	日常生活の指導				
9:45 ~ 9:55	朝の会				
9:55 ~10:45	自立活動				
10:50 ~11:40	総合	音楽	生単	保体	美術
11:40 ~12:10	自立活動				
12:10 ~12:35	給食				
12:35 ~13:25	給食&自立活動				
13:25 ~14:15	道/ 外※	国語	帰りの会	職家	数学
14:15 ~14:35	日常生活の指導			日常生活の指導	
14:35 ~14:45	帰りの会			帰りの会	
下校時間	15:00	15:00		14:00	15:00

※ 道/外：道徳/外国語
道徳と外国語を隔週で学習します。

B部門

- ➡ 新学習指導要領の全面実施
- ➡ 総合的な探究の時間

令和6年 時間割

		職員打合せ 8:30-8:35全体						8:35-8:45部門別																	
校時	曜日	月						火			水			木			金								
	グループ	A	B	A	B	A	B	A	B		A	B		A		B	A			B					
	学年	1		2		3		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	組	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	1~3
0	8:45-8:55	SHR						SHR			SHR			SHR			SHR								
1	9:00-9:50	英語	国語	情報	音楽			理科	数学	美術	音楽	国語	情報	理科	数学	美術	音楽	国語	情報						
休憩	5分			家庭						美術						美術									
2	9:55-10:45	情報	英語	職業基礎	社会	国語		国語	理科		美術	音楽	家庭	社会	理科		美術	音楽	家庭						
休憩	5分																								
3	10:50-11:40	体育	情報	国語	社会			家庭	国語	数学	社会	美術	家庭	家庭	国語	数学	国語	美術	家庭						
休憩	10分																								
4	11:50-12:40	国語	情報	職業基礎	体育			家庭	情報	国語	情報	音楽	家庭	情報	国語		情報	美術	音楽						
昼休憩	45分	屋食						屋食			屋食			屋食			屋食								
	グループ	全	全	全			A	B	全	A	B	全	A	B	全	A	B	全	全	全	全				
	学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
	組	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
5	13:25-14:15	総合的な探究			体育		総合的な探究	体育		数学	職業基礎		総合的な探究	体育	総合的な探究										
休憩	5分	CC・CG	CC・CG	CC・CG																					
6	14:20-15:10						体育	音楽		職業基礎	数学		体育	音楽	体育										
	15:10-15:30	SHR・清掃						SHR・清掃			SHR・清掃			SHR・清掃			SHR・清掃								
	17:00最終下校	生徒の課外活動(部活等)																							

徳：交流教育の充実 ～インクルーシブ教育モデル事業への取組み～



最初の出会いは緊張気味でも・・・
お互いを認め合い育つ やさしさ

カリキュラム・マネージャー(小学校)⇔本校教員
・授業、学習している姿から理解を深める
・6月～授業実践

日本の今の教育は？ほとんどが・・・

特別な支援が必要な子どもたちと、そうでない子どもたちに分けて、別々の場所で学習をしています

インクルーシブ教育とは？

国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもたちが共に学びあう教育のことをいいます

どのような取組み？

若葉台小学校 若葉台特別支援学校 若葉台中学校

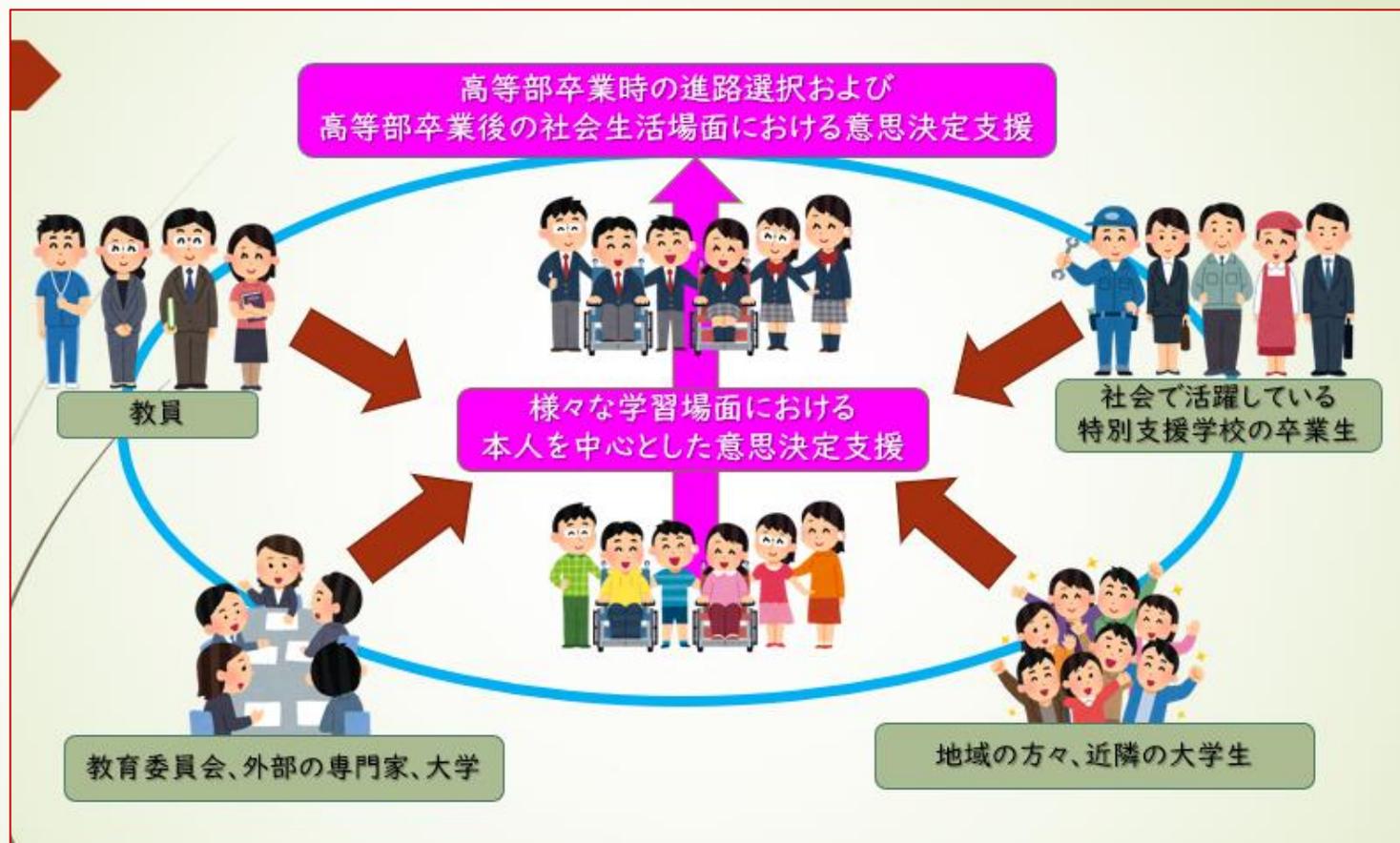
カリキュラム・マネージャー

小学校の一般学級で、特別支援学校・個別支援学級の児童もこれまでとはちがう国語や算数などの教科の学習をしましょう。カリキュラム・マネージャーの私が週に2回程度、特別支援学校にも来て、みなさんが安心して学習できるように、授業の内容や必要な配慮についても共有をする予定です。

公開：キャリア教育の充実 ～「意思決定支援・18歳の選択」への取組み～

意思決定支援モデル～18歳の選択～
*児童生徒が様々な学習場面において本人主体の意思決定を積み重ねる

*高等部卒業、進路決定、社会生活場面において、自らの思いや願いを表明できるように、支援方法やツールの環境整備



令和7年～令和9年用 グラウンドデザイン策定

全校で一つの資質・能力

- ➡ 校内組織・新分掌(8月～)
- ➡ 合同教科会での検討
- ➡ メンターチーム(中堅研修教員)による研究授業・授業者支援会議の推進
- ➡ 2月公開研究授業への参加(A部門)

横浜市立若葉台特別支援学校 令和4～6年度版 中期学校経営方針(令和6年度修正)	
学校教育目標	◎一人ひとりを大切に教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を充実させます。(開校宣言) ○一人ひとりに応じた学び、コミュニケーションを大切に教育を行います。(知) ○一人ひとりの自信を大切に育む気持ちや態度を育てる教育を行います。(徳) ○一人ひとりの体と安全を最優先した教育を行います。(体) ○一人ひとりの社会の一員としての気持ちや態度を育てる教育を行います。(公・関)
学校概要	創立 12 周年 校長 笹平みどり 副校長 宇佐美剛・小滝愛子 2 学期制 幼児・児童・生徒数: 169 人 幼稚園: 人 小学部: 37 人 中学部: 21 人 高等部本科: 108 人 専攻科: 人
教育目標全体で育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力を踏まえた「()年度で育てる子ども像」と具体的な取組
A. 地域に過ごす力 伝える力 他者との関わりを広げていく力 B. 伝える力 自己選択力 自己決定力 自立と社会参加も目指し生きる力	A. 自立を促し、自分の思いや考えを自分なりに表現する力を身に付けさせる。 自立を促し、よりよく生きるために他者との関わりを広げていく力を身に付けさせる。 自立を促し、心豊かに過ごすために、様々なこと、様々なことを見つける力を身に付けさせる。 B. 自立を促し、コミュニケーションの力を身に付け、自立した生活を送る力を身に付けさせる。 C. テーム力を高め、個別の指導計画の柔軟性と弾力性を高め、個々の課題解決に弾力性のある指導を行う。 D. テーム力を高め、キャリアデザインの高度化を図り、生徒の関与力を向上させ、個々の課題解決に弾力性のある指導を行う。 E. テーム力を高め、A・B部門間の連携を促す。
中期教育目標	○一人ひとりを徹底的に大切に教育を行い、地域と共に歩み、個々に応じた自立と社会参加を目指す教育を充実させます。 ・教育的ニーズに応じた課題の設定や解決方法を通して、自己表現や自己選択や自己決定する力を育てます。 ・交流及び共同学習の場を多く経験させることを通じて、自信を大切に育む気持ちや態度を育てます。 ・個々に応じた健康・体力の維持、増進を目指すことを通じて、個にあった健康・体力の向上を図ります。
重点取組分野	具体的な取組
知 生きてはたらく知	①個別の指導計画の目標達成ができるように、個に応じた指導を充実させる。②一人ひとりの特性を理解し、身に付けさせたい力を明確にした授業を充実させる。③地域での学びを充実させ、自己肯定感、コミュニケーション力の向上を目指す。
徳 実践教育	①校内での A 部門、B 部門の交流教育活動を充実させる。②学校間交流、地域交流、副学種交流を通して、育ちあう力の育成を推進する。③インクルーシブモデル実践で新しい交流・共同学習の在り方を研究する。
体 健康安全教育	①日々の学習、自立活動、行事などを通して、自分自身の身体意識を育てたり、心身の健康について考える力を育てる。②安定した健康状態で授業に臨めるよう環境等を整備する。③集団生活におけるルールやマナーの理解を高め、友達と協力して安全に活動できる力を育てる。④多職種と協働して、安全に医療的ケアを実施する。
公 関 キャリア教育	①キャリア発達を支援する教育活動を充実させる。②経験を通して自分のことを理解する力、考える力、選ぶ力など、意思決定の基盤となる力を育成する。 ③保護者と連携しながら系統的、計画的な進路指導を行う。
いじめへの対応	①授業が学校が安心できる場となるように授業改善に取り組む。②体罰や不適切な指導を防止したり、いじめへのアンテナを高くし、常に児童生徒の人権が尊重されるようにする。③SCの活用、いじめアンケート、面談を通して、生徒の思いを知り寄り添った指導を行う。
センター的機能の取組	①特別支援教育コーディネーターを中心に巡回支援や研修の提供などを行う。②他機関との連携、協働を通して障害理解や啓発を行い、障害のある方の社会参加に貢献する。③若葉台地区インクルーシブモデル実践を推進する。
地域連携・学校運営協議会	①学校運営協議会委員による学校運営への参画と協力を推進するために、学校からの情報発信を積極的に行う。②学校と地域と協働での活動を推進する。③意思決定支援フロアアール育成を協働で行う。
情報教育 GIGAスクール推進	①学校図書館の計画的な活用と読書活動の充実を図る。②一人一台端末、クラウドを効果的に活用し教育内容、活動の充実、授業での児童生徒が活用する場面を増やす。
人材育成・組織改革	①校内組織の見直しを図るとともに、効果的運営と学校運営上の課題解決を目指す。②両部門共通での研修の機会を増やすとともに、管理職面談を通して研修を推奨する。③メンターチームの取り組みを通して、キャリアステージに応じた校内人材育成を充実させる。

質疑・応答

その他

- ・ 事務長より
- ・ 今後の日程